



平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月9日

上場会社名 株式会社 ユーシン

上場取引所 東

コード番号 6985 URL <http://www.u-shin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田邊 耕二

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 田尾 和也

TEL 03-5401-4660

四半期報告書提出予定日 平成24年10月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	46,268	8.2	2,616	△1.2	2,071	6.4	△497	—
23年11月期第3四半期	42,778	△7.6	2,647	△37.9	1,946	△51.4	1,035	△58.2

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 △764百万円 (—%) 23年11月期第3四半期 659百万円 (△56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	△16.26	—
23年11月期第3四半期	33.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第3四半期	94,999	31,273	32.9	1,007.74
23年11月期	91,690	32,181	35.1	1,050.99

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 31,248百万円 23年11月期 32,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年11月期	—	5.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.1	2,800	△26.7	2,100	△30.6	△900	—	△29.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) U-SHIN AUTOPARTS MEXICO.S.A. DE C.V.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年11月期3Q	31,995,502 株	23年11月期	31,995,502 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年11月期3Q	986,744 株	23年11月期	1,401,448 株
-----------	-----------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期3Q	30,606,046 株	23年11月期3Q	30,594,145 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、為替レート、株価など様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご注意ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、主要顧客である自動車メーカーの生産が堅調に推移したことにより、売上高は46,268百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は、グローバル展開に伴い研究開発費等の支出が増加したため、2,616百万円（同1.2%減）となりました。

また、製品不具合対応費用の発生に備え、特別損失として製品補償引当金2,593百万円を繰り入れたため、四半期純損失497百万円（前年同四半期は純利益1,035百万円）を計上しました。

なお、中長期戦略として推進しております、国内生産施設の合理化と研究開発能力の強化を目的とする広島新工場の建設は、建屋が完成し2012年12月の本格稼働に向けて、設備・人員等の移転を進めております。

また、海外においても、中国における工場の拡充や、今後の米州戦略の中核となるメキシコ新工場の建設は、起工式を執り行い（中国）、基礎工事に着手する（メキシコ）等、順調に進んでおります。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(自動車部門)

東日本大震災の影響を脱し、エコカー補助金制度による追い風を背景として、顧客である自動車メーカーの生産が堅調に推移したことから、売上高は30,776百万円（前年同四半期比11.0%増）、営業利益は1,366百万円（同18.4%増）となりました。

(産業機械部門)

中国の景気減速、欧州の景気低迷に伴う工作機械向けの不振を、建設機械向けや農業機械向けでカバーし、売上高は13,433百万円（前年同四半期比3.1%増）となりましたが、プロダクト・ミックスの悪化により、営業利益は1,077百万円（同19.1%減）となりました。

(住宅機器部門)

震災復興需要の寄与もあり、売上高は2,058百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は140百万円（同14.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、94,999百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,309百万円増加しました。これは、国内及び海外における設備投資によって、手元資金（現預金及び短期保有の有価証券）が減少する一方で、固定資産が増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、63,725百万円となり、前連結会計年度末よりも4,216百万円増加しました。設備投資のための資金調達により有利子負債が増加したこと、製品補償引当金を繰り入れたことが、主な要因です。

(純資産の部)

純資産は31,273百万円と、前連結会計年度末に比べ907百万円減少しました。四半期純損失の計上や配当金の支払等によって利益剰余金が減少したこと、円高の進行に伴い為替換算調整勘定が減少したことが、主な要因であります。

※第1四半期連結会計期間より、有価証券の評価方法を変更したため、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値にて算出しております。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の決算短信発表時に公表いたしました数値から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

また、平成24年6月26日に公表いたしました仏Valeo社の一事業部門であるAccess Mechanism Product Group（“アクセスメカニズム事業”）の事業譲受につきましては、現在もValeo社と協議中であり、本決算短信の業績見通しは影響を受けておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、U-SHIN AUTOPARTS MEXICO. S. A. DE C. V. を新たに設立し、連結子会社としております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

時価のあるその他有価証券の減損処理に基づく評価損の戻入れについて、四半期切放し法を採用しておりましたが、昨今の経済環境の著しい変化に起因する各四半期ごとの市況の変動による影響を排除し、財政状態及び経営成績をより適正に表示するため、第1四半期連結会計期間より四半期洗替え法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及修正後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及修正を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は3百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は79百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,404	35,559
受取手形及び売掛金	16,143	16,105
有価証券	4,000	—
商品及び製品	2,955	3,130
仕掛品	1,165	1,393
原材料及び貯蔵品	3,653	3,528
その他	1,455	2,827
貸倒引当金	△289	△391
流動資産合計	64,487	62,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,014	3,787
機械装置及び運搬具（純額）	4,226	3,824
工具、器具及び備品（純額）	2,250	2,237
土地	7,724	7,929
建設仮勘定	714	5,223
有形固定資産合計	18,929	23,002
無形固定資産	308	473
投資その他の資産		
投資有価証券	5,941	6,333
その他	2,265	3,191
貸倒引当金	△250	△199
投資その他の資産合計	7,956	9,324
固定資産合計	27,194	32,801
繰延資産	7	44
資産合計	91,690	94,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,214	5,177
短期借入金	4,800	5,600
1年内償還予定の社債	1,200	400
1年内返済予定の長期借入金	4,872	7,220
未払金	6,011	6,425
未払法人税等	673	79
製品補償引当金	301	2,364
賞与引当金	86	359
役員賞与引当金	31	109
資産除去債務	0	0
その他	1,283	716
流動負債合計	24,474	28,453

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
固定負債		
社債	200	1,800
長期借入金	32,657	30,688
退職給付引当金	1,238	1,277
役員退職慰労引当金	111	99
資産除去債務	56	45
その他	770	1,361
固定負債合計	35,034	35,272
負債合計	59,509	63,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,016	12,016
資本剰余金	12,122	12,122
利益剰余金	11,156	10,270
自己株式	△831	△585
株主資本合計	34,464	33,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	439
為替換算調整勘定	△2,476	△3,014
その他の包括利益累計額合計	△2,310	△2,574
少数株主持分	27	25
純資産合計	32,181	31,273
負債純資産合計	91,690	94,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	42,778	46,268
売上原価	35,924	38,574
売上総利益	6,853	7,693
販売費及び一般管理費	4,206	5,077
営業利益	2,647	2,616
営業外収益		
受取利息	39	31
受取配当金	76	83
為替差益	—	109
その他	185	120
営業外収益合計	301	344
営業外費用		
支払利息	396	487
為替差損	256	—
コミットメントライン手数料	265	285
その他	84	116
営業外費用合計	1,002	889
経常利益	1,946	2,071
特別利益		
固定資産売却益	10	4
投資有価証券売却益	1	34
受取保険金	80	—
受取損害賠償金	76	—
その他	18	—
特別利益合計	186	39
特別損失		
固定資産除売却損	12	12
減損損失	24	52
投資有価証券評価損	30	—
製品補償引当金繰入額	—	2,593
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
災害による損失	155	—
その他	—	35
特別損失合計	269	2,693
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,863	△582
法人税、住民税及び事業税	781	726
過年度法人税等	109	—
法人税等調整額	△61	△808
法人税等合計	829	△82
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,034	△500
少数株主損失(△)	△1	△2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,035	△497

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,034	△500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	273
為替換算調整勘定	△309	△537
その他の包括利益合計	△374	△263
四半期包括利益	659	△764
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	663	△762
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年12月1日至平成23年8月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	27,737	13,025	2,016	42,778	—	42,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	151	35	6	193	△193	—
計	27,889	13,060	2,022	42,972	△193	42,778
セグメント利益	1,153	1,331	122	2,607	39	2,647

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去37百万円及び全社費用2百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年12月1日至平成24年8月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	30,776	13,433	2,058	46,268	—	46,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	184	62	6	253	△253	—
計	30,960	13,496	2,065	46,522	△253	46,268
セグメント利益	1,366	1,077	140	2,584	31	2,616

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去31百万円及び全社費用0百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月24日付けで、鹿島建設株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において利益剰余金が46百万円、自己株式が246百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が10,270百万円、自己株式が585百万円となっております。